キリスト教委員会のHP(http://rakuno-ce.org)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

33何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。34だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。」

【奨励】「最も価値あるもの――空の鳥、野の花」

イエスさまは、「空の鳥をよく見なさい。～あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか」とおっしゃいました。また、野の花を指して、「今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか。〔……中略……〕だから、思い悩むな」とも言われました。

では、私たち人間の「価値」とは、一体どこにあるのでしょうか。ある学者が人間の身体を化学的に分析したところ、含まれているカルシウム、塩素、ナトリウム、鉄分、リン、ヨード、マンガン、銅などの鉱物質をすべて計算したら、500円ほどにすぎないという結果が出たそうです。これが人間の価値でしょうか。そんなはずはありません。

旧約聖書の創世記1章27節には、「神はご自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。」（God created man in his own image, in the image of God he created him）。この「神のイメージ（神の形）」こそが、人を他の生き物とは区別し、人間らしくする本質です。それは、人間が授かっている「人格（知・情・意）」とも言えます。

私たちは、神さまからそのように「最も価値あるもの」として創られました。だから、私たちは「最も価値あること」のために生きるべきです。それこそが、イエスさまの言われる「神の国と神の義を求める」ことであり、大学で学んでいる皆さんにとっては、「三愛精神」を学び、実践して生きることなのです。私たちは今、恵まれた環境の中で学び、働きの時を過ごしています。しかし、思い悩むときがあるでしょう。そのときは一度立ち止まって、「空の鳥、野の花」（自然界）がどのように育っているかを思い出してください。

【次回の大学礼拝】2026年11月24日（火）10時40分
聖　書：ローマの信徒への手紙13章8節 a
奨　励：「『荒川アンダーザブリッジ』にみる愛と借り」髙橋優子
讃美歌：“Step by Step”、“As The Deer”　（獣医保健看護学類教授）

【前回の大学礼拝】2026年11月10日（火）
学生：61名 教職員：9名　合計：70名

【大学礼拝週報】2026年度 第23号（後学期第8号）

2026年11月17日（火）午前10時40分
酪農学園大学 黒澤記念講堂

司　　式　小林昭博（宗教主任・循環農学類教授）
奏　　楽　佐藤理恵（日本基督教団野幌教会オルガニスト）
讃美指導　相原晴伴（農環境情報学類長・教授）

前　奏	我がイエスよ、我は離れず（ワルター作曲）
讃美歌	21−425番（こすずめも、くじらも）
聖　書	マタイによる福音書6章25−34節
さんび	酪農学園大学聖歌隊
奨　励	「最も価値あるもの――空の鳥、野の花」
祈　り	朴　美愛（学園宗教主事）
讃美歌	21−403番（聞けよ、愛と真理の）
報　告	
後　奏	主なるキリストよ、我らにみ心をかけたまえ（J.C.バッハ作曲）

【本日の聖書】マタイによる福音書6章25−34節（新共同訳）

25「だから、言っておく。自分の命のことで何を食べようか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思い悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではないか。26空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。27あなたがたのうちだれが、思い悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。28なぜ、衣服のことで思い悩むのか。野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。29しかし、言っておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。30今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか、信仰の薄い者たちよ。31だから、『何を食べようか』『何を飲もうか』『何を着ようか』と言って、思い悩むな。32それはみな、異邦人が切に求めているものだ。あなたがたの天の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである。